

第6回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会
2015年6月13日(土)～14日(日)
@つくば国際会議場(茨城県つくば市)

ワークショップ 31	
タイトル	論文執筆と査読は表裏一体：英語学術論文の書き方上級編、そして良い論文執筆につながる査読のコツ
日時	6月14日(日) 9:40-12:00
企画責任者	廣岡 伸隆 (委員会企画：General Medicine 編集委員会)
定員	30名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】 本セッションの目的は、英語論文作成能力を向上するために、その書き方を講演するすると同時に、査読を通じてさらに英文論文作成にも役立ててもらうことにある。</p> <p>【概要】 新専門医制度を見据えて、本学会がプライマリ・ケアそして総合診療の分野におけるアカデミックな牽引役を担っていくことは明らかであり、日本語雑誌及び英文雑誌「General Medicine (以下 GM)」を学会が抱えていることは大きな意義を持っている。このような状況の中、本セッションは、岡山の学術大会で大盛況だった「必ず知っておきたい、あなたの論文が英文学術誌にアクセプトされる必殺技！」の第2弾。英文学術論文の書き方の上級編です。さらに上級のテクニックを身に付けましょう。きっと学術論文がすらすらと書けるようになるでしょう。ところであなたは査読の依頼を受けたことがありますか。まだまたそこまでは、と思っているあなた。査読はいい論文を書くために役に立ちます。今回は「よい査読のコツ」もご紹介！このセッションを受ければきっとあなたのプライマリ・ケア・ライフがアカデミックなものに変わるでしょう！</p>	